

# 平成23年度 第3回 理事会 議事録

平成23年12月10日・11日

熊本県山鹿市「山鹿市総合体育館1F会議室」

## 次 第

- 1 司会進行 堤谷
- 2 出席者 高松・井上・坂井田・今井・折本・大野・中梶・中村・中田・河田・  
月成・林・堤谷  
以上13名
- 3 部長挨拶 高松 彰
- 4 議長選出 慣例により部長が担当

## 5 議 題

- (1) 平成23年度全国高校選抜自転車競技大会事前協議及び実施要項について

(理事長・総務・技術審判)

○総務部会長より要項等について 別紙参照

ア、日程変更 受付 3/22 9:00～11:00

監督会議 3/22 13:00～

開会式 3/22 14:00～

閉会式 3/25 12:00～

イ、表彰 山岳賞・スプリント賞の特別賞があることを明記

ウ、周長測定 21日午前中に実施予定

エ、ロードレースの距離は、コースを調整中であるのでまだ明記できない。(中田)

オ、菊鹿公民館の住所を明記してほしい。(中村)

○総務部会長より申込書について 別紙参照

ア、特別枠参加者の入力を追加している。

○総務部会長より参加案内について 別紙参照

ア、受付 3/22 9:00～11:00に変更

イ、受付時ユニホーム持参。

ウ、IDカード持参無し。

エ、2ページの監督会議、開会式、閉会式の日程表記分かりやすくするため、大幅に変更。

オ、2ページにメディアドームの使用上の注意事項を項目6として表記。

カ、2、3ページのトラック練習時間の表記を変更。

- キ、宿泊関係については変更無し。
- ク、荷物輸送についてロード会場は「あんずの丘」に変更。
- ケ、弁当配布時間変更有り。
- コ、ロードコース試走、駐車場、自転車格納、医療機関については変更無し。
- サ、その他のアスレチックトレーナーのサポートについては未定である。
- シ、連絡先大会本部090-4975-0132に変更。

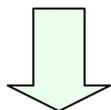
○技術審判部会長より日程変更について

ア、北九州から山鹿市までの移動があるので大幅な日程変更が必要である。

監督会議を12:00からできないか？

その後の時間帯を1時間繰り上げられないか？

・受付	9:00～11:00
・監督会議	12:00～13:00
・役員打ち合わせ	13:00～14:00
・開会式	14:00～14:30
・練習	14:35～15:00
・2km I P	15:10～16:00 (50)
・3km I P	16:00～17:15 (75)
・PR予選 (12km×4組)	17:20～18:35 (75)
・閉門	20:00



・受付	9:00～11:00
・ <b>役員打ち合わせ</b>	<b>12:00～13:00</b>
・ <b>監督会議</b>	<b>13:00～14:00</b>
・開会式	14:00～14:30
・練習	14:35～15:00
・2km I P	15:10～16:00 (50)
・3km I P	16:00～17:15 (75)
・PR予選 (12km×4組)	17:20～18:35 (75)
・閉門	20:00

イ、2km I P、3km I Pは底冷えする時間帯でタイムが出にくい(中梶)

競走種目を持ってくれば？スターティングブロックを準備することもないし・・・

番組編成会議で日程を詰めていく。

○技術審判部会長より競技役員編成および人選について 別紙参照

ア、24年度より インターハイ審判長 部会長  
 選抜大会審判長 部会長および部会員、外部も含めて可変。

○技術審判部会長よりギヤ比制限について 別紙参照

ア、現行の7. 1 3 mで行う。

○理事長より日本写真判定について

ア、無料で全面協力していただける。

イ、弥彦 I Hは一部協力していただける。

ウ、大分 I Hは無料で全面協力していただける。

○理事長より番組編成会議について

ア、平成24年1月28日・29日北九州市役所

参加者 技術審判部会委員、理事長、総務部会長、月成、中田、堤谷、渡辺

北九州市役所選抜大会実行委員

理事長・総務部会長・技術審判部会長の報告通り承認

(2) 新潟インターハイの進捗状況及びロード規制等について (総務・技術審判)

○総務部会長より要項について 別紙参照

ア、ロードコースの一部が使用できなくなったのでコース変更があった。詳しい状況は技術審判部会長から説明がある。

イ、実施要項で手直しがある。できれば新潟 I Hから実施したい。だめなら大分 I Hから。

ウ、4、競技日程での変更（女子エキシビジョンレース）

・18、19の後に表彰

・20、ケイリン2回戦の前後にスプリント1/2決勝をする。

・実施要項にのせる競技日程を曖昧なものをのせてもらったほうが技術審判部会としては都合がよい（折本先生より）

・外向けに準備する要項なので、各種目の予選、準決勝、決勝の日程が示されていた方がよい。

エ、6、競技方法の（学校対抗種目得点の変更）

・団体競技の得点の引き上げ（1～4まで加点および2倍点）。

・ロードレースの得点の引き上げ（今のままでよい?）。

・国体、インカレでは種目得点が内容によって違っている。

・別表参加制限について ロードレース開催地枠の復活

3名にする。東北・関東・近畿から1名減。参加総数144名に変更。

・特別枠の人数もあるが、参加総数500名以内ができるように。最近では500名を超えることがない。

・2月の専門委員長会議で諮る必要がある。

○技術審判部会長より ロードコース視察について

ア、国体で使用したロードコースを使用する。

イ、ほぼフラットなコース。

ウ、トンネルについては投光器を使って照度を確保。

(3) 第4回全日本ステージレースについて (理事長)

○理事長より 資料無し

ア、まだ具体的な話はない。

イ、第3回は参加者過去最高エントリーになり成功裏に終わった。

ウ、地元の1/3負担（JKAより2/3補助）が厳しい。高体連から負担できないか？

エ、来年度の競技日程はインカレおよび都道府県とかぶらないように。8月下旬。

地元の役員を呼ぶことで経費削減。ほかの大会とかぶると地元役員が引っ張られてしま  
い運営が難しくなる（他県から役員を呼ぶことになり経費が上がってしまう！）。

オ、7月実施はないのか（河田）→ 参加者が集まらない＝参加費が少なくなる ×

カ、高校生にとって唯一のステージレースなので、火は消してはいけない（折本先生）

キ、トラックの表彰ステージをなくすことでコストダウンができた。

ケ、ホテルのシーズン料金があるので、ホテルと交渉する必要がある。

理事長の報告通り承認

(4) 登録選手対象の保険加入について (理事長)

○理事長より 別紙参照

ア、昨今の状況では自転車に乗っている選手が加害者になるケースが増えてきている。

（昨年度大学生が加害者になっている）

イ、賠償責任保険単体でダイイチプランニングにプランを作ってもらった。

ウ、保険金額5,000万で一人1,300円。保険金額1億であれば1,400円。

○総務部会長より 別紙参照

ア、現在、登録選手の保険加入率は**20%**である。登録選手全員の保険加入を達成したい。

イ、第1次加盟校登録 4月25日まで（2、3年生）

ウ、第2次加盟校登録 5月25日まで（1年生） 登録選手全員の保険加入完了

エ、第3次加盟校登録 10月25日まで（追加登録）

オ、被害者との交渉はやってくれるのか（折本）

カ、書類だけ送られてきて被害者との交渉までするタイプのか（中村）

キ、追加申し込みも可能。次の月の1日より。

ク、登録人数の増減によって金額も変わる。

ケ、他競技でも賠償責任保険に加入しているケースが多い。

理事長・総務部会長の報告通り承認

(5) インターハイ女子競技の公開競技としての導入について (理事長)

○理事長より 別紙参照

ア、公開競技とエキジビションレースとの違い。

要項に女子選手の種目や申し込み、表彰の規定について記載でき、正式な運営ができる。  
イ、要望書を作成したので確認いただきたい。

ウ、認められたならば新潟IHから実施したい。遅くとも大分IHから。

エ、公開競技になるとJKAからの補助はしてもらえるのか(中村)。全額は難しいかも。

理事長の報告通り承認

(6) 全国高体連自転車競技専門部の一般法人化に向けての取組みについて (理事長)

○理事長より 別紙参照

ア、全国高体連自転車競技専門部を一般法人化することで、JKAからの補助金が直接受けることができる。

イ、平成25年度より実施できるように準備を進めていきたい。

ウ、IHを実施することが難しくなっている。実行委員会の経費が削られている。自己負担が必要になる時がくる。

エ、事務局が大変になる。法人になるためには登記が必要。JCF事務所に設置。担当者を雇う？

懸案事項とする

(7) その他

6 報告事項

(1) JCF関係について (理事長)

○理事長より

ア、オリンピックがあるので大会開催日程が大幅に変更になる予定。

イ、全日本は伊豆ベロドロームで実施。

(2) 平成23年度全国高体連加盟団体長会・専門部長・委員長合同会議について (理事長)

○理事長より

ア、IHは28年中国大会まで決まっている。

(3) 第3回全日本ステージレースについて (強化育成)

○強化育成部会長より 別紙参照

ア、女子選抜チームが参加した。

(4) 2011年第17回日韓対抗学生自転車競技大会について (強化育成)

○強化育成部会長より 別紙参照

(5) 平成25年度全国高校総体自転車競技大会(大分)会場視察について (理事長)

○理事長より 別紙参照

ア、ロード H25 7/31(水)オートポリス平日開催(使用料が少なくてすむ)。

イ、配宿は日田市で行う。

ウ、トラック H25 8/1(木)~3(土) 別府競輪場

(6) 平成23年度全国高体連トラック全国合宿について (強化育成)

○強化育成部会長より 別紙参照

ア、参加者はIH国体にて1・2年生で入賞した選手。

イ、12月23日～27日

ウ、参加費25,000円

エ、伊豆ベロドロームで実施。

オ、新品タイヤで参加させる。パンクによる落車を防ぐため。

カ、照明の照度が低いのでサングラスはクリアレンズ。

(7) ホームページのバナー広告について

(事務局)

○事務局長より

・ダイワボウさんから6ヶ月(H23.12.1～H24.5.31の期間)の申請があった。

(8) 賛助会員の募集について

(事務局)

○事務局長より

(9) その他

○技術審判部会長より 技術審判部会報告について 別紙参照

ア、新潟IH役員編成約60人。

イ、旅費の上限は21,000円で決まっている。

ウ、平成23年度全国高体連トラック全国合宿に猿舘先生が参加者。

エ、アンケートを受けて部会としての取り組み(機材制限)。

機材制限について意見が分かれている。高校スポーツがお金で勝敗が決まっている状況。

選抜大会にてアンケートを実施予定。

オ、アンケートを受けて部会としての取り組み(今後の大会実施形態について)。

70%の顧問が現状維持といった解答。

目指すべき大会像は何か見極めていく必要がある。

ロードの開催負担が大変大きい

経費削減のうえで大会維持していくためには大会の縮小、参加人数の縮小。

女子種目の導入。

全国高体連ホームページ女子選手数が0で表示されている。改善を求める。

カ、アンケートを受けて部会としての取り組み(指導者研修会・講習会について)。

練習指導がメイン?情報提供?メールマガジン等を出す。

安全対策としてロードおよびトラック練習中・大会中のサインの統一など。

ロード練習は道路交通法も絡んでくるので難しいかも・・・

道路は人が通行する、荷物を輸送する場であり、ロード練習する場ではない。

キ、アンケートを受けて部会としての取り組み(インターハイマニュアルについて)。

年度内に骨子作成。

○総務部会長より 総務部会報告について 別紙参照

ア、加盟校登録申請書の内容を変える。

顧問の現住所、選手の現住所および電話番号の削除  
イ、ユニホーム登録の電子データ化について。